

## 事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年3月31日
2次評価日（課長等）	30年3月31日

1 事業名	旧林家住宅管理事業			コード	112201	
2 担当部課	部等	教育部	課等	生涯学習課（美術考古館）	作成者	高木 昭彦
3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち			
		政策	文化・スポーツの振興	施策	文化財の保護・活用	
		予算科目	旧林家住宅管理事業費	業務委託	一部委託	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	旧林家住宅条例			

## ●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
施設の概要（簡潔に）	明治時代にイチヤマカ林製糸所を経営していた林国蔵の居宅		
目的	対象者	市民及び観光客	
	意図	明治時代の製糸家の住宅を見学しながらシルクの歴史と文化を学ぶ	

5 施設の管理運営状況			
指定管理者	なし	29年度指定管理料	円
施設における通常業務	入館料 個人 高校生以上570円 小中学生260円 団体 同 360円 同 100円 諏訪6市町村の小中学生及び市内在学在住の高校生は無料 他館との共通入館券あり		
事業の実施内容	(29年度に施設で行った運営事業・自主事業など) 和洋を取り入れた住宅であるため、収蔵している民族資料や雛飾りの展示を市民の協力のもと行った。また、4月29日のシルクフェアでは、茶道協会による呈茶を行った。さらに9月3日には、茶道協会との共催で茶会を開催した。 なお、施設の維持補修として離れ内蔵壁浮部の補修工事を実施した。		
前年度の課題への対応	冬季間の入館者が少ないことから、経費節減対策として12月から2月まで開館時間を2時間短縮し公開した。		

6 施設の利用状況	*①は貸館施設のみ対象（ただし年間開設日数は入力） *②・③はどちらかの欄に記入 *			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度（予算）
① 施設稼働率	79.2%	74.4%	81.6%	
年間開設日数（日）	297	300	304	302
1日の開設時間（時間）	8	8	8	8
年間利用可能時間（時間）	2,376	2,400	2,432	2,416
年間利用実績（時間）	1,882	1,785	1,984	
② 年間利用者数（人）	2,776	2,691	2,593	5,438
有料利用者数	1,991	1,815	1,626	4,471
無料利用者数	175	148	233	233
減免措置者数	610	728	734	734
③ 年間利用件数（件）	4	5	4	6
有料利用件数	2	3	2	5
無料利用件数	0	0	0	0
減免措置件数	2	2	2	1
④ 1日あたり利用者数、件数	9.4	9.0	8.5	18.0
⑤ 施設利用状況の説明				

## 7 コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	3,933,300	4,103,886	4,784,621	6,902,000
経常経費	3,933,300	4,103,886	3,796,221	3,902,000
臨時的経費	0	0	988,400	3,000,000
* 臨時的経費の説明	改修工事費			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000
正規職員の人数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30
③ 合計コスト(①+②)	6,333,300	6,503,886	7,184,621	9,302,000
前年度比		102.7%	110.5%	129.5%
財源内訳				
一般財源	5,338,870	5,580,866	6,378,691	6,490,000
特定財源	994,430	923,020	805,930	2,812,000
* 特定財源の説明	施設入館料及び使用料、報告書等売却代、広告料収入			
④ 施設使用料年間収入額	785,830	714,420	618,530	2,420,000
⑤ 年間減免措置額	338,140	404,110	415,950	5,140
⑥ 受益者負担割合	28.6%	27.3%	21.6%	35.1%
⑦ 活動一単位あたりコスト	2,278	2,412	2,386	
前年度比		105.9%	98.9%	
⑧ コストに関する補足説明	臨時職員賃金、住宅説明業務委託料が主なもの			

## ●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価	* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。	妥当性	高い
評価項目		はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。		1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。		1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。		1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。		1	

9 有効性評価	* 有効性=施設の利用状況(項目6/住民の満足度)は向上しているか。	有効性	標準
評価項目		はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。		1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。		1	
④ 施設の利用者が増加した。	1日あたり利用者数、件数 前年度比 95.1%		0
⑤ 施設使用料収入が増加した。	施設使用料年間収入額 前年度比 86.6%		0

## ●改善の内容(ACTION)

10 具体的な課題と改善	
課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること) 施設の老朽化が目立ってきており、来館者の安全の確保や良好な保安全管理が課題とされている。冬季間の入館数が少ないことから公開方法を含め引き続き対策を検討する。
1 2	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 入館者の安全を考慮し、施設破損箇所等で緊急性の高い箇所について修繕工事を実施する。 平成29年度に引き続き、冬季期間(12月から2月まで)の開館時間を2時間短縮する。
改善開始時期	平成30年4月から

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	---	---

13 大規模修繕の予定

	予定事業費	円	予定時期	
内容				

## 施設の維持管理コスト計算シート

事業名	112201	旧林家住宅管理事業
-----	--------	-----------

## 1 施設の維持管理にかかる直接事業費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
共済費	6,888	0	6,888	
賃金	1,665,653	0	1,665,653	
需用費	291,507	0	291,507	
役務費	135,345	0	135,345	
委託料	1,686,210	200,000	1,886,210	
工事請負費	0	788,400	788,400	
原材料	8,618	0	8,618	
負担金	2,000	0	2,000	
			0	
			0	
合計	3,796,221	988,400	4,784,621	

## 2 施設の維持管理にかかる人件費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数	0.30		0.30
合計	2,400,000	0	2,400,000

人

円

## 3 特定収入

単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
入館料及び使用料	618,530	0	618,530	旧林家住宅入館料及び使用料
資料等売却収入	115,400	0	115,400	遺跡発掘調査報告書等売却代
広告料収入	72,000	0	72,000	広告料収入
			0	
			0	
			0	
合計	805,930	0	805,930	

## 4 一般財源

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	5,390,291	988,400	6,378,691

## 施設の運営コスト計算シート

事業名	112201	旧林家住宅管理事業
-----	--------	-----------

## 1 施設の運営にかかる直接事業費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

## 2 施設の運営にかかる人件費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数			0.00
合計	0	0	0

人

円

## 3 特定収入

単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

## 4 一般財源

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	0	0	0